

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスもりびた		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者や関係機関が参加できるイベント等の取組を定期的に開催している(もりびたcafé&talk、オープンデイ、その他)	・年間計画に落とし込み、定期的で参加障壁が低い形で実施している。 ・単なるイベントではなく、利用児童を含む参加者が自然とコミュニケーションが取れるようイベント設計を行っている。 ・イベントに合わせて専門家を招へいた研修・講話提供なども行っている。	・事前周知や広報の内容を見直し、見通しがつきやすいイベント周知など、より利用児童および保護者、関係機関が参加しやすい設計を行う。 ・イベント時のスタッフ体制の強化により、参加時のケアやフォローアップを強化する。 ・保護者を巻き込んだ企画などを検討する。
2	・職員の意見が出しやすい、共有しやすい仕組みができています	・定期的な施設運営に関する会議の実施やコラボレーションツールの導入、社内SNS等の活用により、情報共有・職員間の連携体制がスムーズに行えている。 ・PDCAサイクルを念頭に、迅速な修正や課題感の解消が行えている。	・職員のケア・フォロー体制を構築し、職員一人ひとりの質の向上と職員同士の相乗を目指す。 ・意見交換や議論がより行えるように、各種電子化などを実施し、効率的な運営を行うことで、より大切な本来業務への注力を行える体制を築く。
3	・HP、SNSを活用した広報や情報共有体制がある	・オープンな施設運営を心がけており、利用者や地域に向けた情報体制を目指し、定期的な施設通信の発行・広報(月1回)、町内会への加入・広報を行っている。 ・公式LINEやHPを活用し、過去の広報記録やお知らせなどを確認できる情報体制を整備している。	・最新のマニュアル類や施設スケジュールなど、閲覧できる体制をHP上等で整備する。 ・家庭での対応方法について情報提供するなど、施設通信による情報提供の質を向上を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等や訓練実施状況などが、保護者に周知されていない	・定期的な必要訓練又は自主的な訓練の実施はあるが、定期的なお便り等による周知内容が分かりにくいことや、来所機会が少ない保護者にはマニュアル等の閲覧機会が極端に少ない。	・定期通信における周知を見やすく、わかりやすくする。 ・HP等を活用してマニュアル類などの閲覧機会を増やす。
2	・外部団体や関係機関との会議以外での連携や情報交換機会などが少ない	・事業所のアクセスが悪く、参加機会が限られることが多い。 ・職員体制に余裕がなく、外部との交流機会への積極的な参加は難しい。	・事業所外での外部団体や関係機関が参加できる研修や講話機会などにより、交流機会を増やす。 ・職員体制を充実させることで、職員が外部との交流機会を持てるようにする。
3	・基礎的な研修や必須研修を除く、職員の専門性向上やスキルアップに向けた機会が不足している	・職員体制に余裕がなく、外部研修機会への積極的な参加は難しい。 ・内部で高い専門的知見を有する人材が少なく、内部だけの研修機会提供体制の構築が難しい。	・職員体制を充実させることで、職員が外部研修等へ積極的に参加できるようにする。 ・外部の専門家を招へいた研修機会などを増やす。 ・職員からの研修企画や要望を集約し、検討する。 ・キャリアパスの整備を行う。